



TOPIC 4

登録団体リレー講座「特定非営利活動法人 門真はすねクラブ」さんによる「モルック体験」を7月10日に実施しました

門真市立市民公益活動支援センターに登録している団体の活動を知ってもらうため、活動内容に基づく講座「登録団体リレー講座」を門真市民プラザで開催しました。

最近、芸人さんが世界大会に出場するなど話題になったスポーツ「モルック」です。

モルックとは、フィンランドの伝統的なゲームを基に開発されたスポーツです。モルック(木の棒)を下から投げて、倒れたスキttl(木製のピン)の倒れた本数またはそこに書かれている点数で計算され、先に50点ピッタリになったチームが勝ちとなります。複数のチームに分かれて対戦します。



講師の「特定非営利活動法人 門真はすねクラブ」さんは、子どもから高齢者に対して、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツ活動に参加できる環境を目指し、スポーツ・文化活動に関する事業等を行い、健康で活力ある地域づくりに寄与することを目的とした団体です。モルックも地域で生きる社会づくり・スポーツづくりの一環として活動されています。



モルックは、投げる集中力・スキttlを立てることで足腰をつかう・点数を計算する脳トレなどもすることながら、なにより、屋外でたくさんの人といっしょに楽しむことが心の健康にもつながる「楽しめるスポーツ」でした。今後も登録団体リレー講座は色々なテーマで開催していきますので、興味のある活動や団体を知ってもらえるいい機会ですので、みなさんぜひご参加ください。

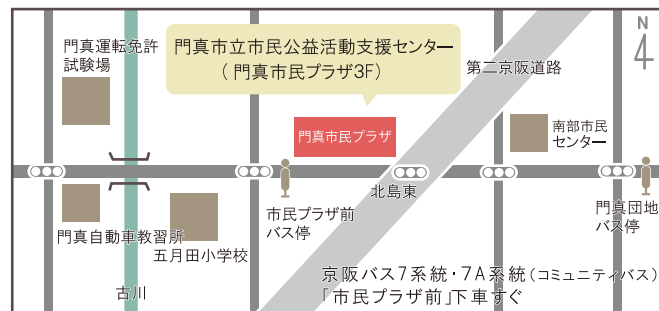
市民公益活動支援センターは、「非営利」かつ「不特定多数の利益」となる、市民公益活動をサポートしています。

門真市立市民公益活動支援センター  
〈指定管理者〉特定非営利活動法人 大阪NPOセンター

住所：〒571-0025 門真市大字北島546番地 門真市民プラザ3階  
TEL：072-800-7431  
FAX：072-800-7432  
Eメール：ko-eki-c@aquac.ocn.ne.jp  
開館時間：9:00～21:30  
休館日：毎週木曜、年末年始(12/29～1/3)  
ホームページ：www.kadoma-koeki-cnt.com



※警報などの発令により、開館状況が変更となる場合がありますので、詳しくはホームページをご確認ください。



Access

- ・京阪バス7系統・7A系統(コミュニティバス)「市民プラザ前」下車すぐ
- ・京阪本線「古川橋」駅(北口)からバスで約15分
- ・地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南」駅からバスで約16分

公益times



門真市立市民公益活動支援センター

TOPIC 1

「門真の井戸端会議 ～いろんなセクターがつながる～」

「門真の井戸端会議～いろんなセクターがつながる～」の狙いは、「ひと・もの・かね・情報」などの資源を、多様なセクター(企業・NPO・行政・教育機関)などが共有(知恵を結集)することで、それぞれのセクターの「強み」を活かし、かつ、「弱み」を補い合うつながりをつくること。そのつながりを基に市民公益活動を広げ、門真のまちづくり(市民公益活動)を実践していくことです。

8月20日 話題提供者:「京阪ホールディングス株式会社」難波 正行さん

①活動の背景(自己紹介)

2016年から、経営企画業務(グループ不動産全般)と、沿線再耕(守口・門真エリア)を担当しており、「ものづくりまちづくり」をキーワードに掲げて活動している。

※沿線再耕:沿線を再び良くしていく戦略(駅を拠点として、地域の歴史・文化・産業などの特色を活かした、魅力あふれる美しい沿線を再生し、沿線の居住・来訪者の拡大を図る)。

②門真・守口の特徴(気づき)

- ◆恵まれた交通アクセス(空港へのアクセスがよく、日本国内は元より、国外からのアクセスが良い)
- ◆卓越した技術等を有するものづくり企業群が多数あり、多くの人々が働いている
- ◆山積する都市経営課題(密集市街地、防災、治安、学力、生産年齢人口、社会インフラなど)

③2030年に門真がどうあるべきか?

「もりかど知識製造都市構想(仮称) ～都市経営課題を、ものづくりとテクノロジーの「地産地消」で解決する～」

◆ポイント:

- ・変化の激しい現代社会で、投資ありきの長期スパンでの事業やまちづくりは困難  
⇒小さく試して積み上げる、変化に対応できるまちづくり
- ・良い悪いの判断を安易にしない  
⇒価値観の違いをまずは尊重する
- ・地域経済は、「域外市場産業(外貨)」と「域内市場産業(内貨)」に分けて分析する
- ・言いたいこと(本音)が言える人間関係づくりが基本の基(コミュニティが構築されている)

④話題提供を踏まえ、以下のような熱い議論が交わされました。

- ◆「一緒にやりましょう」と誘う(市民の意識が変わってくる)⇒知り合いが増える
- ◆活用できる場所(空き家・空間)が意外とある⇒シェアハウスなどに活用
- ◆新しいハードができると、人の動きが変わる⇒門真市駅・古川橋駅・大和田駅、それぞれの駅での特色
- ◆人口という「パイ」は減っている現状…⇒もりかどの外から見ても良いし、住んでも良いまちづくり
- ◆チャレンジできる土壌はある
- ◆アクセスの優位性を活用し、外貨(域外市場産業)を稼ぐ

「門真の井戸端会議 ～いろんなセクターがつながる～」では、多様なスキルを持っている市民がつながることで、ソフト面(社会関係資本:ソーシャル・キャピタル)を活かした、小さなまちづくりを実践していきます。





## TOPIC 2 NPOのための「広報セミナー」を開催しました

広報ツールの役割や効果的な活用方法などを学び、NPOや市民公益活動団体の運営力強化につなげることを目的に、2022年7月に、NPOのための「広報セミナー」を開催しました。3回連続講座で、門真市を拠点に活動する「特定非営利活動法人 門真フィルムコミッション」の代表理事の奈須崇さん(第2回・第3回)と、理事の林知明さん(第1回)に講師をしていただきました。

### 第1回【撮影方法(静止画・動画)～撮影のポイント～】

NPOのための「広報セミナー」第1回目(7月3日開催)は、【撮影方法(静止画・動画)～撮影のポイント～】を学びました。

撮影の大原則は、「構図(水平・垂直、三分割法、日の丸構図)」を意識するだけで、キッチリ撮れること。加えて、「光・照明(キーライト、フィルライト、バックライト)」も大切で、やはり太陽光が一番良いとのことでした。



また、被写体(何を映して、何を映さないのか?)を一つに絞り、余計なものは映さないことや、アイキャッチ(注意を惹くような画像)も、撮影のポイントとのことでした。しかし、その写真から、何を伝えたいのかが、一番大切!

受講された方からは、「写真を見た人に、本当に訴えたいものが何か? 撮影したの人の視点がどこにあるか? また見てほしいものをどこに配置すれば効果的か(感じてもらえるか?)などを理解することができたとの声もありました。

次回は、SNSの活用方法～SNSの特性とポイント～です。どんな学びがあるのか、楽しみです。

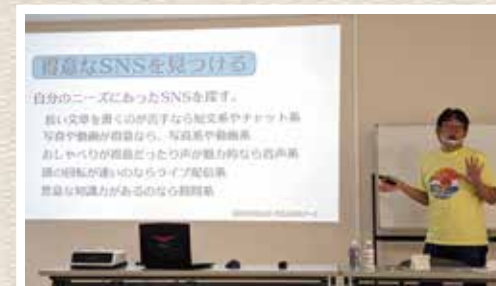
### 第2回【SNSの活用方法～SNSの特性とポイント～】

NPOのための「広報セミナー」第2回目(7月10日開催)は【SNSの活用方法～SNSの特性とポイント～】を学びました。

今回のセミナーでは、「SNSとは」といったところから、主要なSNSとそれぞれの違い、上手な活用方法などの説明がありました。そして門真フィルムコミッションさんの事業やその広報戦略など実例を挙げ、どのようにしてフォロワーを増やしたかなどの実践事例を紹介いただきました。

事業を分析・細分化し、それぞれ異なるアカウントで複合的に発信することが重要であり、そのようにするとユーザーが求めている情報を適切に届けることができ、ファンを獲得できる!とのことでした。

奈須さんのお話は上手で楽しく、和気あいあいとした雰囲気でした。参加者のみなさんからは「新しいことを学んでとても楽しかったです。」「アカウントはあるので、まず一歩からスタートしてみます!」「勉強になりました。」との感想をいただきました。



### 第3回【チラシの作成方法～見せ方とポイント～】

7月31日(日)に、3回連続 NPOのための「広報セミナー」の最終回となる、【チラシの作成方法～見せ方とポイント～】を開催しました。講師の方は、前回に引き続き、特定非営利活動法人門真フィルムコミッションの奈須崇さんです。

今回は、「広報セミナー」の集大成として、まず「広告」とは何か、どのような種類の広告があり、広告効果はどのように測るのかということについて、丁寧にお話しいただきました。

その後、具体的な「チラシの作成方法」についての話に入りましたが、門真フィルムコミッションの実際の広報や、講師の方がこの回のために作ってくださったチラシなど、様々な事例を紹介いただきました。



チラシを作るにあたって、文字の配置や大きさ、フォントの種類など工夫することがたくさんあることを知りました。また、その広告を何のために(目的)作るのか、誰に(対象)届けるのかということから考えること、それを途中で変えないことの大切さも学ぶことができました。



攻めの広告、守りの広告、イメージを伝えるフォント、情報を伝えるフォントなど、広告そのものや広告作りに関する理解が深まり、今後の活動に活かすことができることをたくさん学ぶことができました。

門真フィルムコミッションさんの動画を連携させたものや、遊びを取り入れたものなど、趣向を凝らされた様々な広告の数々に驚くとともに、当センターでも「攻め」「守り」どちらの広告もつくり、みなさまの活動の支援に役立てていけるように努めます!

門真市立市民公益活動支援センターでは、今後も市民活動に役立つセミナーを開催する予定です。セミナー開催予定については「広報かどま」やホームページなどでも発信いたしますので、ぜひご参加ください。